

三二授業研 4年2組 算数科指導略案

平成19年6月5日(火) 3校時
 教諭 小野寺 鉄子 (場所; 4年2組教室)

1 授業について(参観時間帯: 導入 展開 まとめ)

単元名	2けたのたし算	本時	4 / 12
授業改善の主な視点	発問・指示	ノート指導	話し合い ICT活用
本時の目標	2位数 + 2位数 = 2位数(繰り上がりあり)の筆算のしかたを理解し, その計算ができる。		
指導に当たって	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までに, 繰り上がりのない加法の計算及び, 1の位の和がちょうど10になって繰り上がる場合の筆算について学習してきた。本時は1の位の和が10より大きい場合の繰り上がりのある筆算について学習する。 ・ お金の操作と結びつけながら1の位の和を10といくつととらえさせ, 10の部分が繰り上がることを理解させたい。 		
ICTを活用する目的	課題の提示 繰り返しによる定着 体験の代行	動機づけ モデルの提示 体験の想起(振り返り)	指示の明確化 失敗例の提示 情報の共有 比較
活用するICT	コンピュータ デジタルカメラ デジタルコンテンツ	プロジェクタ ビデオ	スクリーン インターネット CD-ROM 実物投影機 スピーカー

2 授業の流れ

主な活動	留意点・準備物など 評価
発問の型; 学習意欲を高める発問 知識を確認する発問 思考を(広げる・深める)発問	
1 既習の筆算のしかたを確かめる。 発問 : 計算練習をしましょう。 問題: とも子さんは37円のミニカステラと28円のミニチョコを買います。合わせていくらですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルコンテンツで, 既習問題に取り組みせ, 本時の学習意欲につなげる。 ・ 実物を提示し, 買い物場面を想起しながら興味をもって課題に取り組めるようにする。
2 本時の学習内容をつかむ。 発問 : どんな式になりますか。 指示 : お金を使って答えを求めましょう。 発問 : 合わせていくらになりましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金を使って答えを求めることにより, 1円玉が10まとまって10円となり, 10円玉といっしょに数えることをおさえておく ・ 位をそろえて書いているか確認する。
3 37 + 28の筆算のしかたを考える。 指示 : 筆算をノートに書きましょう。 発問 : 何の位から先に計算しますか。 発問 : 7 + 8はいくつですか。 発問 : 15の10と5はどこに書きますか。 発問 : 次に何の位の計算をしますか。 発問 : 答えはいくらになりましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆算のしかたをお金の操作と結びつけて図で示し, 1の位から計算すること, 10になったら十の位に1繰り上げ十の位の計算に入れることを確認する
4 練習問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルコンテンツを利用して学習のまとめと計算練習が楽しくできるようにする。
5 本時の学習を振り返る。	2位数 + 2位数 = 2位数(繰り上がりあり)の筆算のしかたが理解でき, その計算ができたか。 (ノート・発言)